



公益社団法人日本キャンプ協会
全国一斉キャンペーン

Camping Safety 2020
(7/1~8/31)

キャンプ安全の日
7月19日

夏の時期はアウトドアでの 事故やケガが多くなります！

新型コロナウイルスの影響で、今年の夏はこれまでの野外での安全に加え、感染症に対する安全対策も必要になります。また、マスク着用による熱中症も気を付けなければなりません。小まめに水分補給をすることも忘れないようにしましょう。安全に楽しいアウトドア活動にするためには、キャンパーや指導者が道具や自然に対して正しい知識や理解を身に付けることが大切です。日本キャンプ協会では、毎年7月第3日曜日、今年は7月19日を「キャンプ安全の日」と定めています。いつも実施しているキャンプを見直したり、参加者に安全について知り、考えてもらえる機会を作ったりして、安全に、楽しいアウトドア活動へのご協力をお願いします。荷物も心も万全の状態、楽しい思い出を作りたいものです。キャンプの安全 <https://camping.or.jp/>

キャンプ中どんな場所でケガや事故が多いか知っていますか？

1位 打撲捻挫



2位 生物系

(虫刺され等、生物との接触を起因するもの)

BBQ

カセットコンロ
着火剤 ガス缶
花火 火傷

キャンプ場

熱中症 食中毒
切り傷 擦り傷
打撲 捻挫
火傷

水辺

増水 水中生物
悪天候 溺れ

3位 切り傷



4位 擦過傷

野山

疲れ 落石
道迷い 動植物

施設屋外において発生した外科系傷病件数
国立青少年教育振興機構による平成27年度発生
傷病件数、活動内容別、傷病別集計の比較より
【参照：事故データ・事例集 平成29年1月】

お子さんの行くキャンプは安全ですか？

キャンプに参加されるときは、内容や場所だけに注目せず、きちんとした資格を持つリーダーやスタッフが引率するキャンプなのかも気にしてみてください。集団でのキャンプでは特に、個人でのキャンプとは違った視点で安全を見極める力が必要です。資格を持つリーダーやスタッフは、資格の取得プロセスを通じて子どもたちの持つ良いところを引き出し、成長させる手助けについても学んでいます。キャンプを安全により楽しいものにするために、キャンプの資格は欠かせないものです。

<日本キャンプ協会公認指導者資格>

キャンプ
インストラクター



キャンプ
ディレクター2級



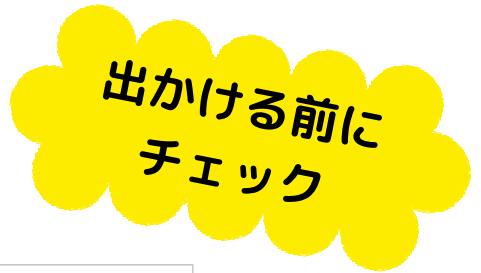
キャンプ
ディレクター1級



▲ キャンプの安全について知ろう！学ぼう！

公益社団法人日本キャンプ協会では、安全にキャンプを楽しむために気を付けたいこと、知っておきたいことをまとめたもの、初心者キャンパーのためのキャンプの基本をまとめたものなど、キャンプを安全に楽しんでもらうための情報提供をおこなっています。

ウェブサイトからダウンロードできます。
<https://camping.or.jp/archive/safety>



冊子：安全なキャンプのために（パート1～10）



パート3
野外料理



パート6
野山の活動



パート9
ファーストエイド

かるた：キャンプの安全いろはかるた



シート：CAMPシート（NO.1～11）



▲ 全国にある キャンプ協会ネットワーク

公益社団法人日本キャンプ協会には、全国47都道府県にキャンプ協会があり、各協会と連携してキャンプの普及を行なっています。活動規模は様々ですが、大人・子ども・家族向けに、キャンプを楽しむ事業やスキルアップの事業など、様々な事業を実施しています。

全国のキャンプ協会連絡先

<https://camping.or.jp/links/prefcampass>



▲ 「キャンプ安全の日」キャンペーン 7月19日「キャンプ安全の日」

公益社団法人日本キャンプ協会では、毎年7月の第3日曜日を「キャンプ安全の日」と定め、その日を含む7月～8月を「キャンプ安全の日」キャンペーン期間とし、安全なキャンプのための情報提供や啓発活動を積極的に行なっています。

夏に増えるアウトドアでのキャンプや自然体験活動でのケガや事故が少しでも減り、キャンプの思い出が楽しいものになることを願っています。

Camping Safety



公益社団法人日本キャンプ協会 National Camping Association of Japan
 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内
 TEL：03-3469-0217 FAX：03-3469-0504 Mail：ncaj@camping.or.jp
 WEB：https://camping.or.jp/